

ON!

Old but New

だいまるゆう

伝統を残しながら、変わり続ける街大丸有

大手町・丸の内・有楽町の

街づくりを発信する情報誌



イベントで、
人と人がつながる街



2015 SPRING

034

人が集い、賑わい、そしてつながる。

公的空間を活用したイベントを開催

① IBA (国際法曹協会) 年次総会で 仲通りに「オープンカフェ」が登場！

- 丸の内仲通り
- 開催日：10月18日～24日(2014年実績)



昨年のIBA年次総会中に、国際的なおもてなし・交流の場として、空間活用モデル事業2014実行委員会により仲通りにオープンカフェが登場。路上に国際的な交流空間が生まれた。

② 「ピンクリボン スマイルウォーク」で 給水ポイントを運営

- 丸ビル屋外広場
- 開催日：10月4日(2014年実績)

乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボンフェスティバル」。丸有地区ではメインイベントである「ピンクリボン スマイルウォーク」の給水ポイントを設け運営を行っている。



まちづくりは、建物建設や空間整備などのハードとエリアマネジメントのソフトの両者がお互いに連携して初めて、人々に向け継続的に魅力を発信することができます。ソフトなまちづくりには、交流機会の創出や都市観光のための魅力づくりなどがありますが、そのために丸有地区では「音楽」「文化・アート」「スポーツ」「環境」「食」など多様かつ参加型のイベントが1年を通じて開催されています。こうしたイベントの開催は丸有地区では必要不可欠となっており、多くの人の支えによって初めて成立しています。



音 楽

世界的なクラシック音楽祭から
JAZZ フェスティバルまで、
多彩な音楽シーンがこの街を世界とつなぐ。

④東京 JAZZ

■東京国際フォーラム & COTTON CLUB
■開催日：9月5日～7日(2014年実績)



▲この期間、大丸有地区にジャズの音色があふれる

世界基準にこだわる国内屈指のクラブ・ジャズ&クロスオーバー・ミュージックの祭典。「世代を超えて、国境を越えて」をテーマに、2002年以來毎年秋にこの街で開催されている。この季節になるとジャズファン垂涎のアーティストが競演を繰り広げ、大丸有地区はJAZZ一色になる。2003年以來ハービー・ハンコックが総合プロデュースを担当し、すっかり東京JAZZの『レジェンド』となっているが、昨年はハービー・ハンコックが自身のバンドを率いて9年ぶりに登場した。

④ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン(LFJ)「熱狂の日」音楽祭 2015

■東京国際フォーラム ほか
■開催日：2015年5月2日(土)～5月4日(月・祝)

フランス北西部の港町ナントで誕生したクラシック音楽祭が日本にやってきて昨年で早10年。大丸有地区を彩るゴールデンウィークのイベントとしてすっかり定着している。ラ・フォル・ジュルネ(=熱狂の日)のタイトルが示すそのままに、世界最大級のエキサイティングな音楽祭は、毎年異なるテーマを設定。本場同様入場料も手頃で子ども連れでも楽しめるのが、この音楽祭の大きな特徴のひとつでもあり、日本のクラシック音楽ファンの裾野を広げるのにも、一役買っている。



撮影/三浦興一

▲日本有数のクラシック音楽祭としてすっかり定着したLFJ

I n t e r v i e w 注目ポイントを聞く



新たな10年に挑むLFJ

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン
「熱狂の日」音楽祭 2015 総責任者
東京国際フォーラム 取締役 上垣智則

幅広い音楽ファンに親しまれているLFJも昨年10年を迎えました。今年からは、従来のように作曲家や時代、地域と言ったクラシック音楽の文脈に則ったテーマではなく、普遍的なテーマを設定することにより、さらにエキサイティングでより多くの方々に楽しんでいただける音楽祭としていきます。その第一回目となる今年のテーマは「PASSIONS(パシオン)」。人間の魂の奥底からあふれ出るこの強い感情を「恋」「祈り」「いのち」という3つの切り口から紹介していきます。また、恒例となった参加型プログラム2の前夜祭もさらに盛り上げ、多くの来街者と熱狂と感動を共有し、大丸有地区のまちづくりと一体となった音楽祭として、また新たな10年の歴史を刻んでいきます。

文化・アート



▲東京の真ん中で盆踊りを踊れば誰もが故郷を思い出す

©東京ミチテラス 2012

⑥東京ミチテラス

- 東京駅丸の内駅前広場ほか
丸の内エリア
- 開催日：12月24日～28日
(2014年実績)

2012年に東京駅丸の内駅舎の復原工事が完成したのを契機に、東京駅丸の内駅舎と行幸通り等を会場に、新しい光の世界を提供する「東京ミチテラス」がスタート。ミチテラスには光が「道」を照らし、「未知(=未来)を照らす」という意味が込められており、歴史・未来・希望などをテーマに毎年光の祝典が繰り広げられている。特に昨年は東京駅開業100周年を迎え、「大正浪漫の色彩」でライトアップする「東京駅モメンタルライトアップ」がお目見えした。

⑤東京丸の内盆踊り

- 丸の内仲通り、行幸通り、丸ビル1階 マルキューブ・周辺部
- 開催日：7月25日/26日(2014年実績)

丸の内仲通りにやぐらが登場し、オフィス街の真ん中で繰り広げられる盆踊り。日本の涼を体感しながら環境への意識を高めることを目的に開催されるもので、踊るのは東京首頭の元歌として知られる「丸の内音頭」。夏の風物詩である「打ち水」をした後に、やぐらの周りで盆踊りを踊れば誰もが故郷を思い出す。主催者団体などが情報ブースを開設するほか、丸の内エリアの人気飲食店がキッチンカーでご当地ならではの屋台メニューを販売し、お祭り気分をさらに盛り上げる。



▲年末の一大イベントは大丸有地区を華やかに彩る

©東京ミチテラス 2014

美術館・博物館

ストリートギャラリーを擁するこの街は
文化・アートイベントで
街に感動を生み出す。

⑦ 藝大アーツ イン 丸の内

■丸ビル1階 マルキューブ

■開催日：10月21日～26日(2014年実績)

東京藝術大学が上野キャンパスを飛び出し、丸の内をフィールドにアートを発信するというのが「藝大アーツ イン 丸の内」。丸ビル1階マルキューブでは、スタインウェイ社のピアノを用いたピアノ専攻の学生・教員による『アフタヌーンコンサート』や、丸の内就業者が演奏する『丸の内ワーカーによる「金曜日のピアニスト」』など、丸の内ならではの公演を無料で楽しめる。8回目を迎えた昨年は、初めて丸ビル1階の丸の内カフェ easeと東京藝術大学がコラボレーションした“GEIDAI カフェ”もオープンした。



◀三菱地所賞美術部門受賞
「罪贖と覚悟の甲冑」

▼藝大コンサート(丸ビル1階マルキューブ)



I n t e r v i e w

注目ポイントを聞く



常に時代の先を見る人々が集まる素晴らしい街、丸の内が私たちのステージ

東京藝術大学 社会連携センター 特任教授 伊東順二

私たち東京藝術大学は上野にいて黙々と良質なものを創る生産者ですが、今までの活動の正しさや今後の方向性を確認するためのパフォーマンスを行い、これを広く広めるにはステージが必要でした。東京は非常にレベルの高い、世界有数のステージです。日本全国からさまざまな地方の特産物が集まる日本のショールームでもあります。その中でも丸の内は芸術に限らず、生活・時代に対して目が肥え、常に時代の先を見る人々が集まる素晴らしい街として「藝大アーツ イン 丸の内」の舞台に選びました。

今回、このプロデューサーとなって考えたこと、それは、今までのプログラムに加え、どう新しさを表現

するかということです。アンドロイドとか未来的なものを同居させたり、親近性が必要と考え、「GEIDAI カフェ」を開店しました。

一方、根付いているプログラムは残していきかけたのです。例えば「金曜日のピアニスト」。これは藝大が提案して丸の内に育てていただいたという、丸の内と藝大がひとつに繋がった証だろうと思っています。街と芸術という関係を考えてみると、感動の無い街なんて存在の意味が無い、だからこそ感動を生み出す街であるべきです。

感動が社会を構築して、進化させるのであれば、芸術はその原動力の最たるものではないでしょうか。そうした意味で芸術は、社会基盤のひとつであると考えています。

スポーツ

オフィス街の大丸有地区は、
その日、ランナーたちが疾走するスポーツフィールドに変貌する。

⑧箱根駅伝

■スタート&フィニッシュ：読売新聞社前
■開催日：1月2日、3日(2015年実績)

箱根駅伝が誕生したのは今から95年前の1920年。関東学生陸上競技連盟加盟校のうち前年大会でシード権を獲得した10校と予選会を通過した10校、および関東学生連合を加えた合計21チームが出場する。東京～箱根間を往路5区間(107.5km)、復路5区間(109.6km)の合計10区間(217.1km)で結ぶ学生長距離界最大規模の駅伝。スタート・フィニッシュ地点の読売新聞社前には多くの関係者や観客が集まる年始の一大競技会になっている。



大丸有地区の沿道に集う観客も応援に熱が入る
写真提供：読売新聞社

I n t e r v i e w

注目ポイントを聞く



大丸有地区がエキサイティングな“競技場”に変わる

読売新聞東京本社 事業局スポーツ事業部 鈴木 章太郎

箱根駅伝は今年で91回目を迎えました。関東学生陸上競技連盟が主催し、我々は共催者としてお手伝いする立場ですが、とりわけ重きを置いているのは警備体制です。第65回大会(1989年)から全区間で完全生中継するようになってからは沿道の観客も増え嬉しく思います。半面、事故がないよう学生スタッフが中心となり、警視庁や神奈川県警のご協力を得ながら、安全な大会運営のため一体となって取り組んでいます。

スタートとフィニッシュ地点となる読売新聞社は日本でも有数のオフィス街・大手町に立地しています。普段スポーツと無縁のこの都市空間にアスリートと観

客が集まる様子には感動を覚えます。とはいえ、周辺で交通規制を実施しますので、大丸有地区全体の観客の動線や滞留場所などを考えた対応を心掛けています。また、沿道で応援していただく皆様に育てられてきた箱根駅伝ですから、これからも末永く愛されるためにも、応援マナーにご協力いただきたいと思います。

世界に通用するランナーを育成することを目的に始まった箱根駅伝ですから、2020年の東京五輪を目指す選手たちも今後増えていくと思います。また、100回の記念大会を迎えられるよう、我々も本年からまた新しい10年が始まるつもりで気を引き締めていきたいと思っています。

環境

環境共生型のまちづくりを進めている大丸有は都市機能と自然の共存の環境ビジョンを世界へ向け発信している。

⑨大丸有打ち水プロジェクト

- 行幸通り、有楽町駅前広場、大手町川端緑道、東京サンケイビル メトロスクエア 1 階「フラット」、東京国際フォーラム 1 階「地上広場」
- 開催日：7月25日～8月14日(2014年実績)

低炭素化やヒートアイランド現象緩和に向け、身近な行動の大切さを意識づけるイベントの一つとして、「打ち水プロジェクト」は2005年より開催。10回目を迎えた昨年は行幸通り、東京サンケイビル、東京国際フォーラムなどで実施。日本の伝統的な夏の風物詩「打ち水」を大丸有地区内の事業者や来街者に参加を呼びかけて今年も実施予定。



⑩エコキッズ探検隊

- 大丸有エリア
- 開催日：7月26日～8月27日(2014年実績)



エネルギー需要の多い都市が直面しているヒートアイランド現象、地球温暖化、資源循環等の問題を遊びながら、楽しみながら学ぶ体験プログラム。都市在住の子供たちを対象に、参加企業が取り組んでいる環境保全活動などを題材とした「環境ワークショップ」、「環境最先端企業や環境共生施設への訪問」等を実施する。

食

食材の生産者と大丸有の消費者がつながることで、街に新しい元気が生まれる。

⑪ JAPAN FOOD FESTA

- 丸の内仲通り、有楽町駅前広場など
- 開催日：11月1日、2日(2014年実績)



「食と農林漁業の祭典」のキックオフとなり、日本各地の「食」と「食文化」の価値を、食べ歩きによって楽しみながら感じることを目的として開催される。開催初年の2013年は、約19万人が来場し大盛況となった。丸の内エリアに全国からニッポンの美味しい食が集結するグルメ注目のイベント。

⑫丸の内行幸マルシェ×青空市場

- 行幸通り地下通路(行幸地下ギャラリー前)
- 開催日：毎週金曜日 11:30～19:30

「青空市場」は、市場(いちば)本来の姿である“生産する人々”と“買う人々”が都市で直接交流し、新たな食文化の創造と食に関する情報の受発信ができる「場」。2004年から開催。2011年から「丸の内行幸マルシェ×青空市場」を毎週金曜日に定期開催。2004年当初からの来場者は10万人を越えている。



東京ステーションシティ

期間限定、春の逸品 桜の抹茶パフェあんみつ

宝暦三年創業、260年以上の歴史を持つ京都老舗茶舗「京はやしや」より、期間限定スイーツのご提案です。抹茶のムースが、桜のパンナコッタと桜のジュレに挟まれて、春らしい逸品に仕上がりました。桜の香りと抹茶の風味が広がります。

改札内B1階グラスタ/京はやしや
TEL.03-3287-3000

●桜の抹茶パフェあんみつ540円 (4月上旬頃まで販売)



春限定、苺・ホワイトショコラがけの詰合せ

東京駅で大人気の「シュガーバターの木」に、春限定の苺ショコラフォンデュが新登場！香ばしくシュガーバターしたシリアルバーに、甘酸っぱい苺ショコラがとろんとかかった香味と、ホワイトショコラがけとの楽しい詰合せです。

改札内1階京葉ストリート/シュガーカフェサンド
TEL.03-3218-8001

●ショコラバー(12枚入)1,080円

(5月末頃まで販売)



価格は全て税込みです。

丸の内シャトル「さくら祭り号」運行

丸の内シャトルは千代田さくら祭り2015期間中の3月28日(土)、29日(日)の2日間ルートを延伸して運行。延伸先は千代田区役所前(千鳥ヶ淵・靖国神社の桜)、神保町(春の古本祭り)、秋葉原和泉橋到着き場前(桜クルージング)、日本橋など、詳細は「千代田さくら祭り」HPをご覧ください。

<http://kanko-chiyoda.jp/tabid/1116/Default.aspx>



KITTE

KITTE 2周年記念限定詰合せ

大正元年創業の宮内庁御用達を拝命する老舗和菓子屋「築地ちとせ」では、創業当初からの代表的な和菓子「東京大納言」や人気の東京お料理菓子「天ぷらせんべい」、醤油生地のお饅頭「むらさきふわり」などを詰め合わせた限定セットを好評販売中です。

KITTE B1階/築地ちとせ
TEL.03-6256-0908

●KITTE 2周年記念限定詰合せ
4,001円(風呂敷あり)/2,912円(風呂敷なし)



(4月5日まで販売)

KITTE 2周年を彩る紅白2色のマカロン

良質な素材の調和と融合から生まれる自然派フランス菓子店『アンプレシオン』では、桜桃とクリームチーズ(ピンク色)、バニラ(白色)の2種類のマカロンでめでたい紅白カラーを表現。特にピンクの桜桃とクリームチーズはさくらんぼの甘酸っぱさが春にぴったりです。

KITTE B1階/アンプレシオン
TEL.03-6256-0917

●KITTE 2周年記念マカロン1,177円 (4月5日まで販売)



価格は全て税込みです。



編集
後記

大丸有のイベントを特集することを通じて、各イベントの特徴や魅力を知ることができました。広大なエリアの中で1年間を通じて様々な団体がイベントを行い、賑わいが生まれています。新しい魅力として賑わいを生み出せるよう、自らの目を養っていきます！



発行：一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
〒100-8133 東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル635区
TEL.03-3287-6181 FAX.03-3211-4367
<http://www.otemachi-marunouchi-yurakucho.jp/>

*本誌に関するご意見、ご感想等ございましたら下記までお寄せください。
machizukuri@otemachi-marunouchi-yurakucho.jp

東京駅 丸の内駅舎周辺ライブカメラ

<http://www.otemachi-marunouchi-yurakucho.jp/live/>

「大丸有(だいまるゆう)」とは、大手町の「大丸」の内の「丸」有楽町の「有」からとった造語です。